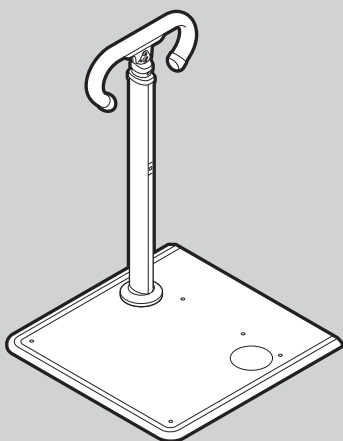


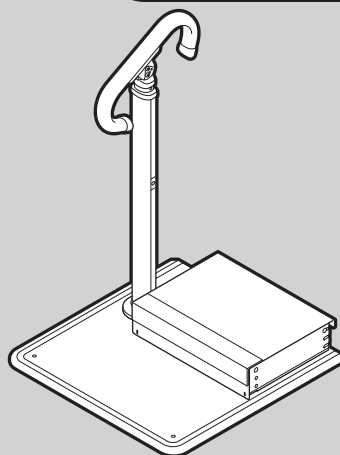
安^{あんじゅ}寿

AT-E-360 / 360F

共通取扱説明書



AT-E-360



AT-E-360F

最大使用者体重：100kg

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- 正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。



保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

👉 確認しましょう



確認しましょう P. 2～4

- ・梱包品と構成部材表の確認…………… 2
- ・各部の名称と仕様…………… 3～4

! 安全上のご注意



安全上のご注意 P. 5～9

✂ 準備しましょう



準備しましょう P. 10～14

- ・設置する前に…………… 10
- ・設置・組み立てましょう…………… 10～12
- ・各部の調節をしましょう…………… 13～14

💖 使いましょう



使いましょう P. 15

- ・ご使用になる前に…………… 15

💧 お手入れしましょう



お手入れしましょう P. 16～17

- ・お掃除のしかた…………… 16
- ・点検のしかた…………… 17
- ・交換部品…………… 17

? 困ったときには



困ったときには P. 17～19

- ・保証とアフターサービス…………… 17～19

👉 確認しましょう

梱包品と構成部材表の確認

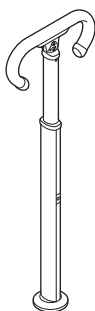
AT-E-360 / 360F

梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。

製品をご使用するには、製品名に応じた構成部材が必要になります。下表を見ながら準備しましょう。

支柱セット

支柱



付属品

支柱固定ボタンボルト
M8 × 12mm 4個



金属ワッシャー
M8 4枚

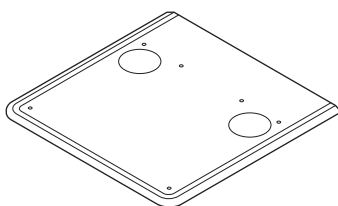


六角レンチ
5mm



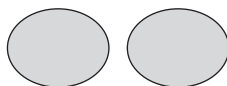
ベースプレート

ベースプレート



付属品

保護マット丸
2枚

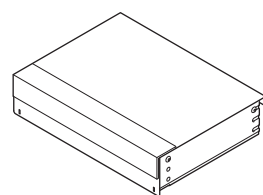


六角レンチ
4mm



踏み台

踏み台



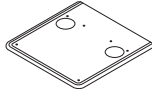
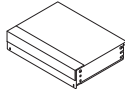
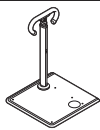
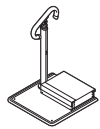
付属品

踏み台固定ボルト
M6 × 8mm 2個



六角レンチ
4mm



製品名	製品イラスト	構成部材		
		支柱セット	ベースプレート	踏み台
				
AT-E-360		1	1	
AT-E-360F (踏み台付)		1	1	1

👉 確認しましょう

! 安全上のご注意

✖ 準備しましょう

👉 使いましょう

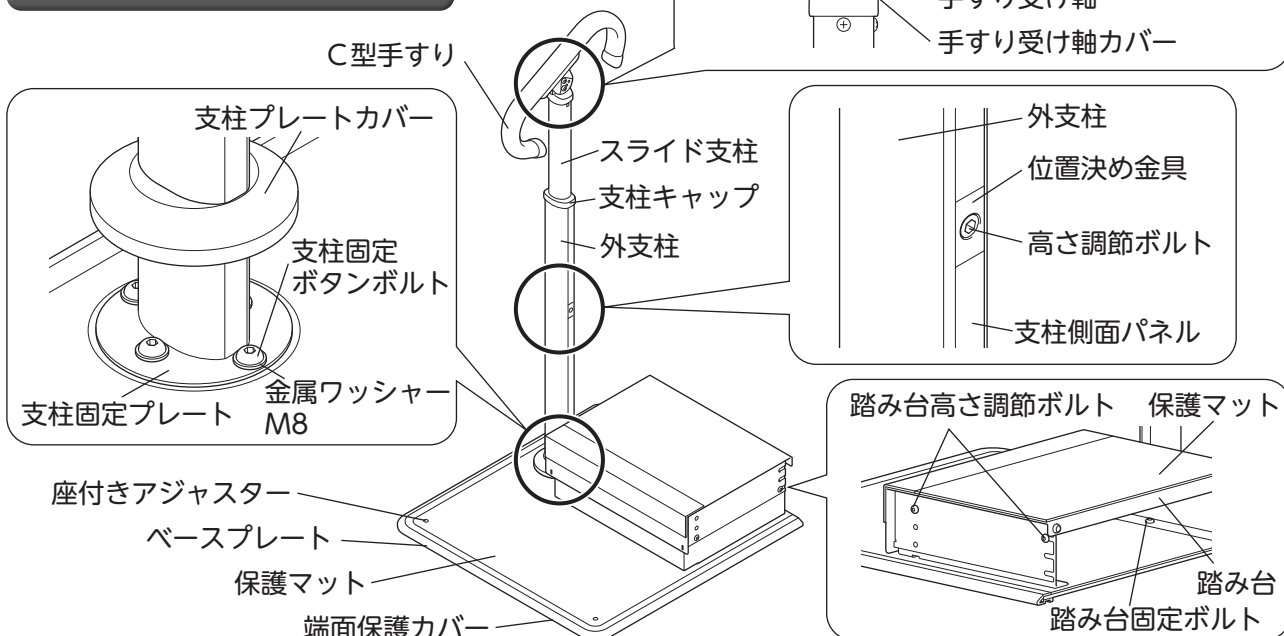
💧 お手入れしましょう

? 困ったときには

👉 確認しましょう

各部の名称と仕様

AT-E-360 / 360F



仕様

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

品 名	AT-E-360 / 360F	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	C 型手すり	半硬質塩化ビニル樹脂(抗ウイルス加工)/アルミニウム
	外支柱・支柱側面パネル スライド支柱・位置決め金具 手すり受け金具・手すり受け軸	アルミニウム
	支柱固定プレート 高さ調節ボルト・角度固定キャップボルト	ステンレス
	ベースプレート・踏み台	スチール
	支柱キャップ・支柱プレートカバー 手すり受け金具カバー 手すり受け軸カバー	ASA 樹脂
	保護マット・端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
	保 護 マ ッ ト	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	幅 60 × 奥行 60 × 高さ 81 ~ 104cm	
手すり高さ	80・82.5・85・87.5・90・92.5・95・97.5・100・102.5cm (10 段階) 傾斜時は + 5 cm	
踏み台高さ	10・12.5・15cm (3 段階)	
重 量	AT-E-360 : 約 16.6kg AT-E-360F : 約 21.6kg	

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工

製品上の特定ウイルスの数を減少させます
有機合成系・練込
手すり持ち手部分
JP0612240A0001R

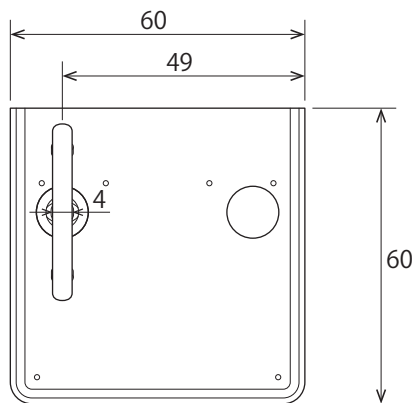
SIAA マークは ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

⚠ 注意事項

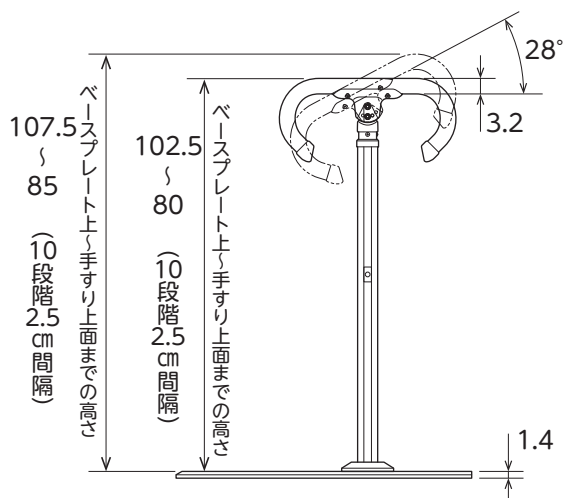
- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・SIAA の安全性基準に適合しています

単位：cm

AT-E-360

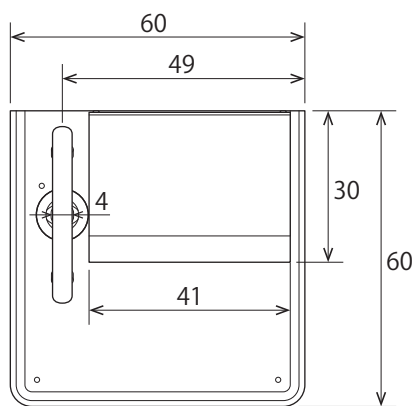


(天面図)

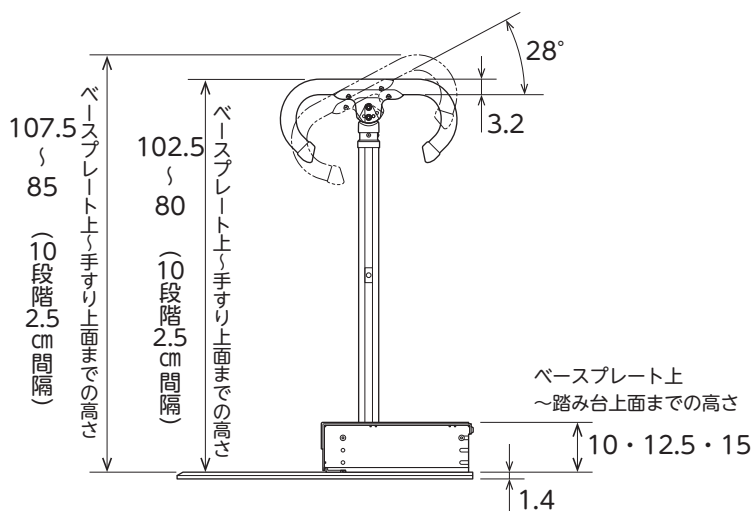


(側面図)

AT-E-360F



(天面図)



(側面図)

 確認しましょう

！安全上のご注意

✂ 準備しましょう

使いましょう

お手入れしましょう

● 困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

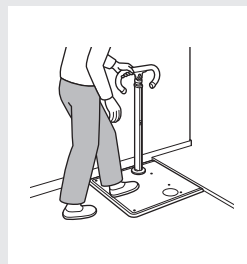
誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

正しく設置すること

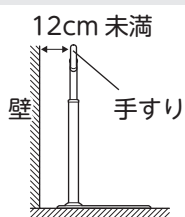
転倒やけがの原因になります。

- ベースプレート 1 枚に支柱セットを支柱固定ボタンボルトで固定して、使用してください。
- 利用者の体重がベースプレートの上にかかった状態で使用してください。
- 段差が 12cm を超える場合は、ベースプレートに踏み台を固定して使用してください。
- 手すりの高さは、大腿骨大転子（太もも横の出っ張りあたり）の位置を目安に調節してください。



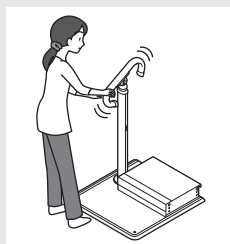
壁あるいは下駄箱と手すりの隙間が 12cm 未満になるように設置すること

特にベースプレートを踏まずに手すりに力を加えると転倒やけがの原因になります。壁側にベースプレートの端部を接触させることを推奨します。



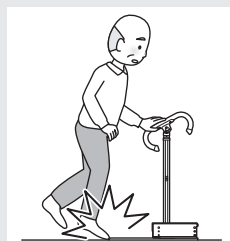
毎回ご使用前に製品を前後左右にゆらしてガタつきがないか確認すること

製品が破損し、けがの原因になります。



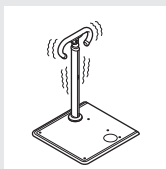
ベースプレートに段差があるので、つまずかないように注意すること

転倒やけがの原因になります。



使用中にゆるみやガタつきが発生した場合はただちに使用を中止して必ず貸与事業所に相談すること

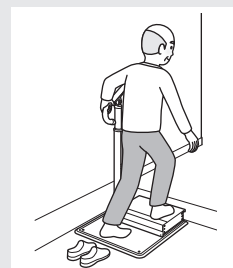
転倒やけがの原因になります。



使用するときには、安定性や利用者の状況を確認してから使用すること

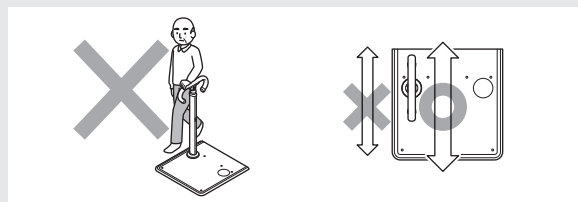
転倒やけがの原因になります。

- 利用者の身体状況によって、手すりの高さや、設置する位置を合わせてください。
- 利用者が自分の身体で十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添ってください。



手すりはベースプレートのある側から使用すること

転倒やけがの原因になります。



ぬれた状態の手すりやベースプレートは滑りやすくなるので注意すること

転倒やけがの原因になります。



確認しましょう

！ 安全上のご注意

※ 準備しましょう

♡ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

？ 困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

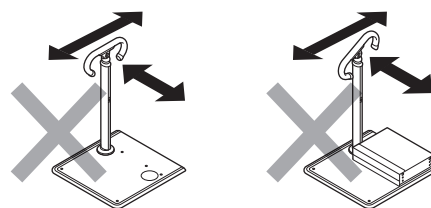
予測できない行動をとる利用者や、自力で危険な状態から回避することが難しい利用者には使用しないこと

利用者の心身状態や利用環境によって、誤って頭や手足、体の一部をぶつけて転倒する可能性があり、場合によっては生命にかかわる事故につながるおそれがあります。十分なモニタリングとフィッティングをお願いいたします。



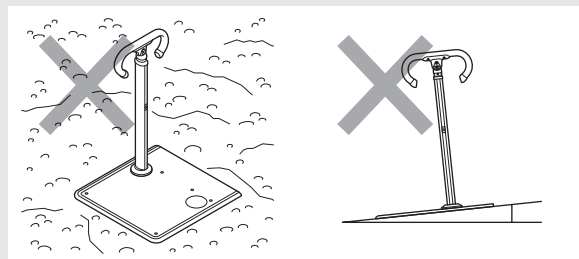
手すりに対して水平に力を加えたり、勢いよく力を加えるなどベースプレートが浮き上がるような使用をしないこと

壁や床に固定されていないため転倒やけがの原因になります。手すりを床面に押さえつけるように力を加えて使用してください。



やわらかい床、凹凸が大きい床面、段差や傾斜のある床面に設置しないこと

ベースプレートがガタつき、転倒やけがの原因になります。



ベースプレートに砂利や土、雪などが乗ったまま使用しないこと

足を滑らせ、転倒やけがの原因になります。



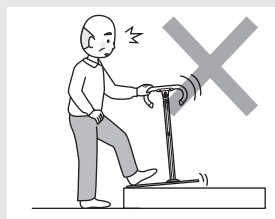
車いすからの立ち上がりには使用しないこと

転倒やけがの原因になります。



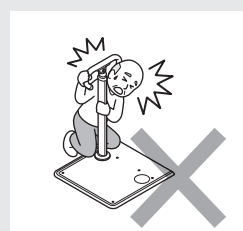
手すりを段差の上に置き、上り下りする用途で使用しないこと

壁や床に固定されていないため転倒やけがの原因になります。



手すり支柱の間に頭、体、手や足などを入れないこと

窒息やけがの原因になります。



ベースプレートの上に足を乗せず、手すりに寄りかかったり、腰かけたりしないこと

転倒やけがの原因になります。



確認しましょう

！安全上の「注意」

＊準備しましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

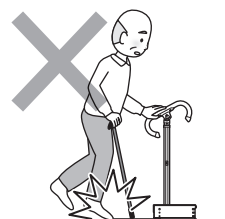
子ども、幼児を遊ばせるなど、ほかの用途では使用しないこと

転倒やけがの原因になります。



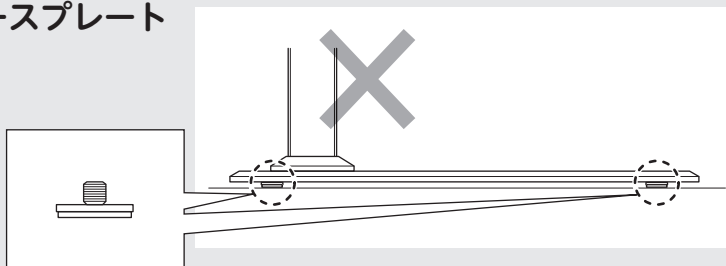
杖や傘など突起物と合わせて使用しないこと

足を滑らせ、転倒やけがの原因になります。



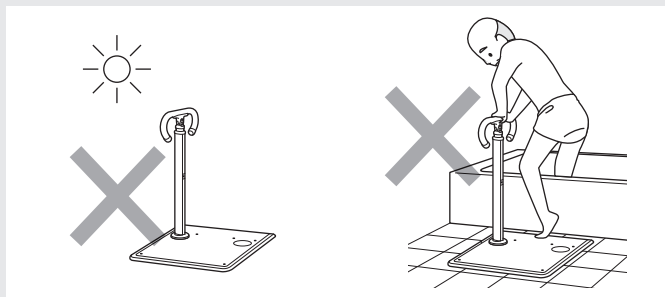
前方の座付きアジャスターとベースプレート後方部だけで接地しないこと

ベースプレート前方部分がガタつき、転倒やけがの原因になります。前方や側面の端面保護カバーも接地するようにしてください。



屋外や浴室など水やお湯などかかる場所で使用しないこと

製品が腐食し、転倒やけがの原因になります。本製品は屋内の土間部分に設置して使用してください。



体重が 100kg を超える方は使用しないこと

本体が破損し、転倒やけがの原因になります。



ベースプレートの上にマットなどを載せたまま使用しないこと

足を滑らせ、転倒やけがの原因になります。

マットなど敷き物の上にベースプレートを設置しないこと

足を滑らせ、転倒やけがの原因になります。

改造をしないこと

また、修理技術者以外の人は、分解したり修理したりしないこと

正常にはたらかず、けがの原因になります。



分解禁止

他社製品と組み合わせたり、連結して使用しないこと

破損やけがの原因になります。

商品梱包用のポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと

幼児がかぶると窒息するおそれがあります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖準備しましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

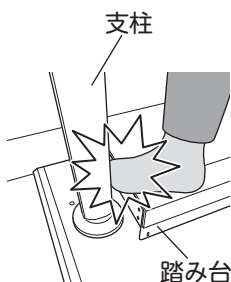
製品重量が重たいので、足に落下しないように注意すること

けがの原因になります。



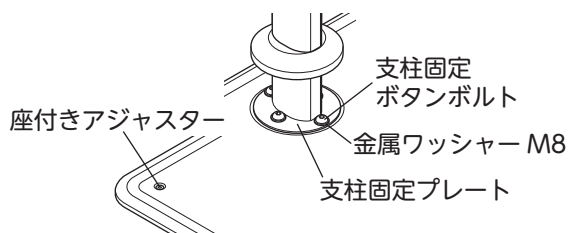
支柱と踏み台の隙間に足を入れないように注意すること

転倒やけがの原因になります。



製品を設置するときは、地面に傷がつかないか確認すること

支柱固定ボタμβルトや座付きアジャスターで床材やタイルなどに傷がついたり、破損の原因となります。

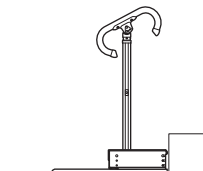


高さ調節ボルトや角度固定キャップボルトは、しっかりと固定すること

ボルトがゆるみ、転倒やけがの原因になります。

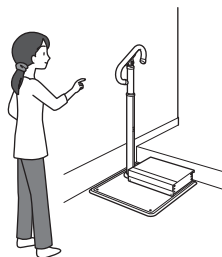
手すりの傾斜向きは、段差の高いほうに傾斜向きが高くなるように調節すること

転倒やけがの原因になります。



定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないことを確認すること

異常が発生した場合は直ちに使用をやめ、貸与事業所にご連絡ください。



塩ビクッションフロアのような比較的やわらかい床面に設置する際は、床面に設置あとが発生する可能性があるので注意すること

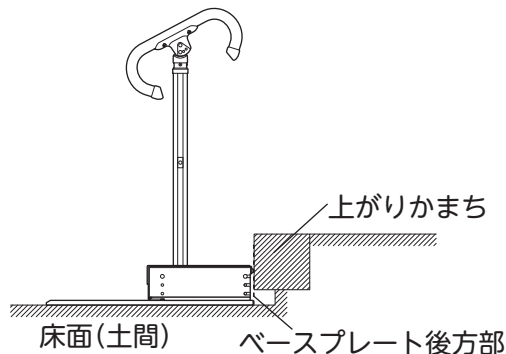
本製品はベースプレートのサイズと重量によって、製品の安全性を確保しています。その点をご理解の上、ご使用ください。

組み立てや高さ調節などは納入業者の方が行うこと

正しく行わないと手すりがガタつき、転倒やけがの原因になります。

上がりかまちの端とベースプレート後方が同じ位置になるように設置すること

転倒やけがの原因になります。



確認しましょう

！安全上の「注意」

✕準備しましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！ 安全上のご注意



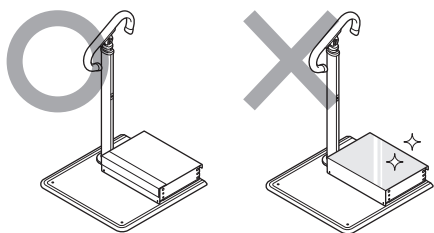
注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

ベースプレートや踏み台の保護マットを剥がして使用しないこと

転倒やけがの原因になります。

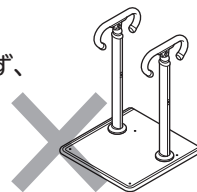


2人以上で同時に使用しないこと

過度な力をかけると製品のガタつきや破損の原因になります。

ベースプレート両側に支柱セットを固定しないこと

支柱間が狭いため、利用者が通れず、転倒やけがの原因になります。



●お手入れ・保管時の注意 以下の行為をおこなうと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

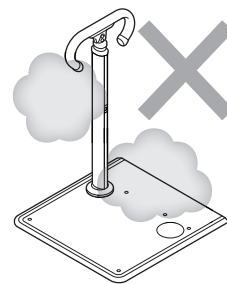
- ・シンナー ・クレゾール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。



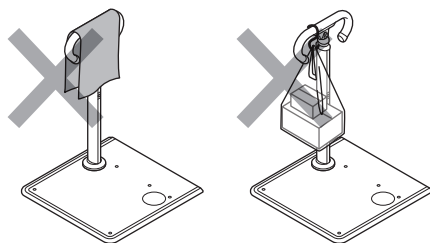
消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。



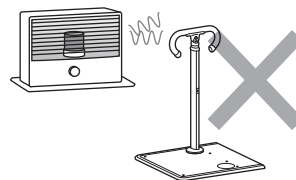
製品に重量物を乗せたり、手すりに物をかぶせたりしないこと

製品の変形や、変色の原因になります。



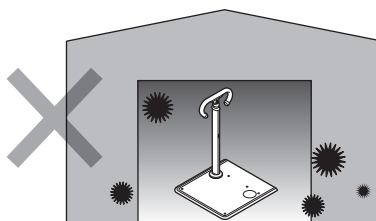
近くに火気がある場所には設置しないこと

火災・変形・変色などが起こり、設置場所によっては転倒やけがの原因になります。



湿気の多い場所で保管しないこと

カビが発生する原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✳準備しましょう

♡使いましょう

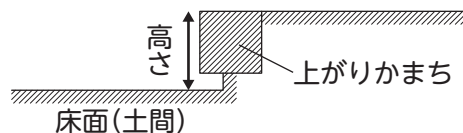
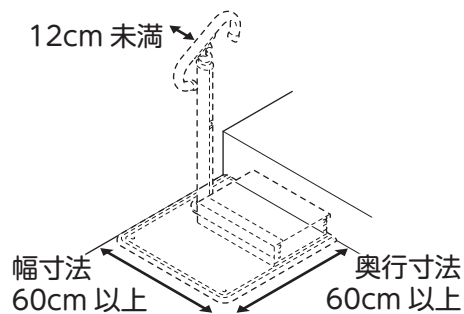
💧お手入れしましょう

？困ったときには

✕ 準備しましょう

設置する前に

1. 設置する場所と、ベースプレート置くスペースを確認します



床面(土間)～上がりかまちまでの高さ	対応製品
0～12cm	AT-E-360
12～30cm	AT-E-360F

床面(土間)～上がりかまちまでの高さで対応する製品が異なります。

警告



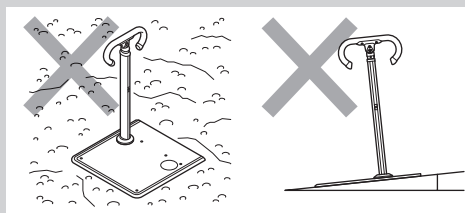
- ・利用者の体重がベースプレートの上にかかった状態で使用すること
- ・段差が12cmを超える場合は、ベースプレートに踏み台を固定して使用すること

転倒やけがの原因になります。



やわらかい床、凹凸が大きい床面、段差や傾斜のある床面に設置しないこと

ベースプレートがガタつき、転倒やけがの原因になります。

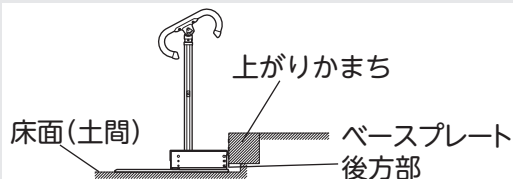


注意



上がりかまちの端とベースプレート後方部が同じ位置になるように設置すること

転倒やけがの原因になります。



設置・組み立てましょう

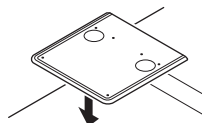
例として AT-E-360F の方法を記載しています。

設置や組み立ては貸与事業所などでおこなっていただき、利用者や介助者などがおこなわないようにしてください。

しっかりと設置されていない状態で使うと、転倒の危険があります。

1. ベースプレートを設置します

利用される位置にベースプレートを設置します。



警告



手すりを段差の上に置き、上り下りする用途で使わないこと

壁や床に固定されていないため転倒やけがの原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕準備しましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

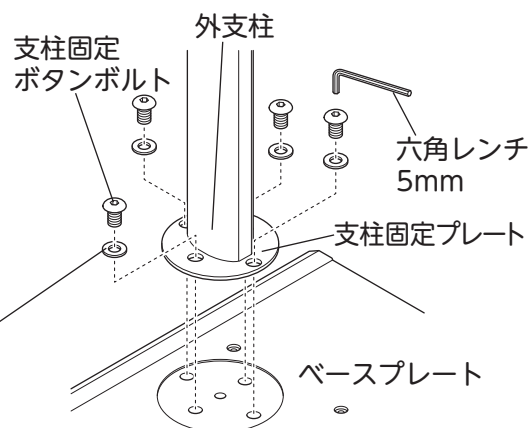
？困ったときには

✳ 準備しましょう

2. 支柱セットをベースプレートに固定します

- ①支柱固定プレートをベースプレートに設置し、支柱プレートカバーを上げ、付属の支柱固定ボタンボルトと金属ワッシャー M8 (4ヶ所) を六角レンチ 5 mm でベースプレートに固定します。
(目安として締め付けトルク 12N・m)

金属ワッシャー M8
※支柱固定ボタンボルト 1 本に取り付ける金属ワッシャー M8 は 1 枚です。
同じ位置に複数枚のワッシャーを取り付けないでください。

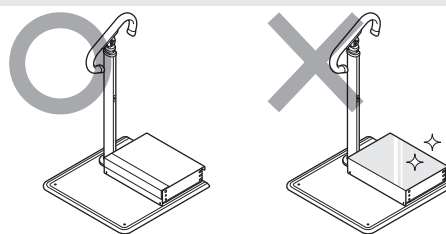


注意

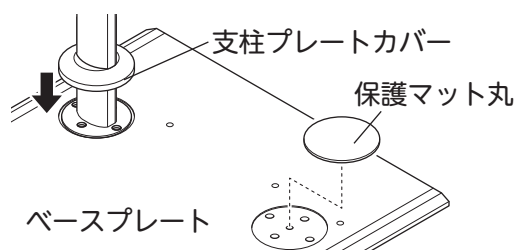


ベースプレートや踏み台の保護マットを剥がして使用しないこと

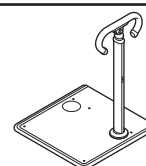
転倒やけがの原因になります。



- ②支柱プレートカバーを下げ、反対側には、保護マット丸裏面の剥離紙を剥がして貼り付けます。

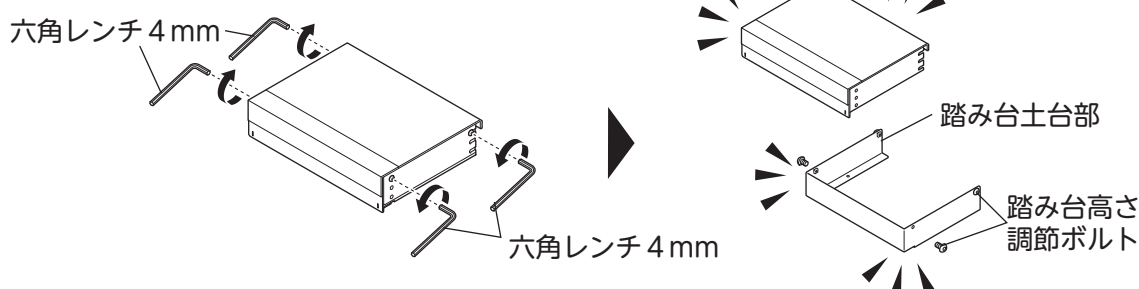


支柱セットはベースプレートの左右どちらにも取り付け可能です。設置場所と利用者の動作を考慮して選択してください。

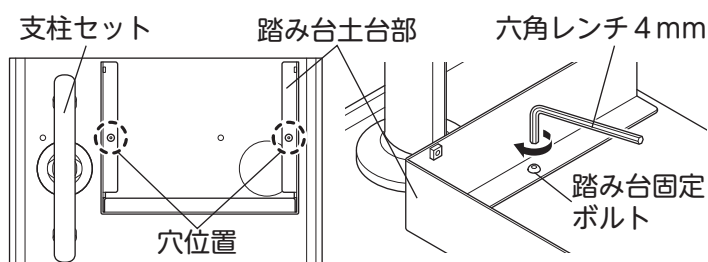


3. 踏み台を取り付けます

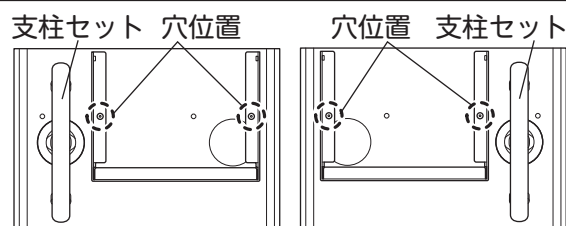
- ①踏み台本体側面にある踏み台高さ調節ボルトを六角レンチ 4 mm で外し、踏み台高さ調節部を外します。
その際に、後ろ側はボルトをゆるめるだけにしておき、前側のボルトのみ外してください。



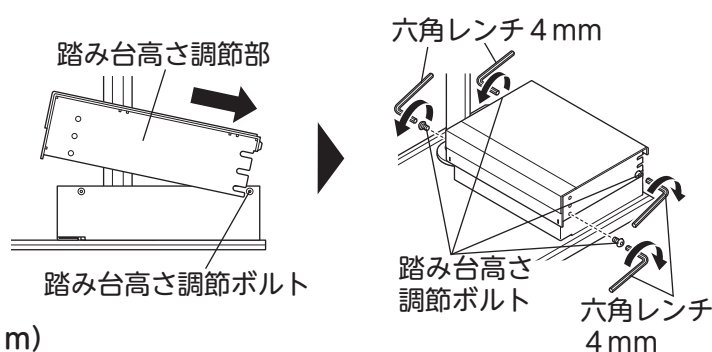
- ② 踏み台土台部をベースプレートに載せ、穴位置を合わせ、付属の踏み台固定ボルト(2ヶ所)を六角レンチ4mmでベースプレートに固定します。
(目安として締め付けトルク 5N・m)



支柱セットの取り付け位置によって、踏み台を固定する穴が異なります。右図を参考に取り付けてください。



- ③ 踏み台高さ調節部の合わせたい高さの溝に、踏み台高さ調節ボルトに差し込む形で入れ、後方と同じ高さになるように前側の踏み台高さ調節ボルトを差し込み、踏み台高さ調節ボルト(4ヶ所)を六角レンチ4mmで固定します。

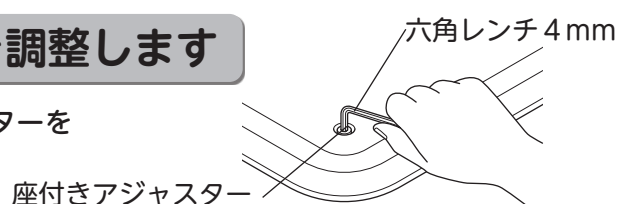


踏み台高さ調節ボルトを固定する溝の位置によって、踏み台高さが変わります。踏み台の高さ設定は、段差の半分程度が目安です。

高さ：10cm	高さ：12.5cm	高さ：15cm

4. ベースプレートのガタつきを調整します

ベースプレート前方2ヶ所にある座付きアジャスターを六角レンチ4mmで回して調整します。

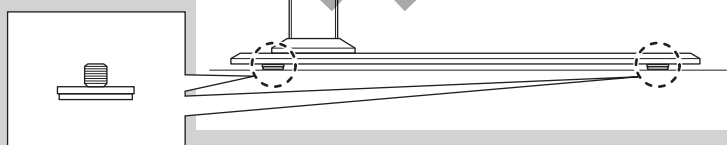


警告



前方の座付きアジャスターとベースプレート後方部だけで接地しないこと

ベースプレート前方部分がガタつき、転倒やけがの原因になります。前方や側面の端面保護カバーも接地するようにしてください。



確認しましょう

！安全上のご注意

＊準備しましょう

使いましょ

お手入れしまし

？困ったときには

✖ 準備しましょう

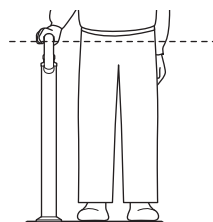
各部の調節をしましょう

移乗動作がおこないやすいよう、利用する方の体格に合った設定をしてください。また、調節は貸与事業所、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。



設定の目安

手すりの高さは、大腿骨大転子の位置（太もも横の出っ張り辺り）を目安に調節してください。



警告



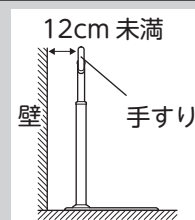
ベースプレートに支柱セットを支柱固定ボタンボルトで固定して、使用すること

利用者の体重がベースプレートの上にかかった状態で使用すること

壁あるいは下駄箱と手すりの隙間が 12cm 未満になるように設置すること

特にベースプレートを踏まずに手すりに力を加えると転倒やけがの原因になります。

壁側にベースプレートの端部を接触させることを推奨します。



利用者の体格や動きに合わせて確認してください。

手すりの高さ調節のしかた

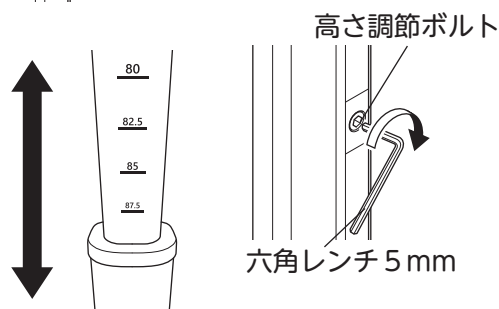
1. 高さ調節ボルトを外します

各支柱の高さ調節ボルトを六角レンチ 5mm でゆるめて外します。



2. 高さを調節します

手すりやスライド支柱を持ちながら、側面に貼ってある目盛りシールで高さを合わせ、高さ調節ボルトを外支柱に差し込み、六角レンチ 5mm で固定します。（目安として締め付けトルク 10N・m）



注意



高さ調節ボルトはしっかりと固定すること

高さ調節ボルトがゆるみ、転倒やけがの原因になります。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ 準備しましょう

♡ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

？ 困ったときには

手すりの角度調節のしかた

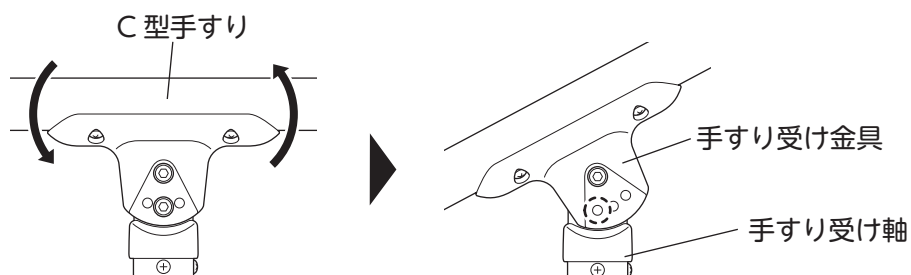
1. 角度固定キャップボルトを外します

手すり受け金具にある角度固定キャップボルト（2ヶ所）を六角レンチ5mmでゆるめ、下側のみ外してください。

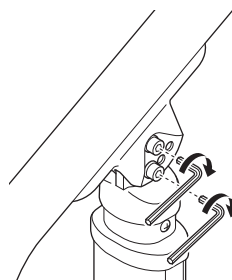


2. 手すりの角度を調節します

① C型手すりを回して、手すり受け金具と手すり受け軸の穴位置を合わせます。



② 合わせた穴に角度固定キャップボルトを入れ、上下2ヶ所にある角度固定キャップボルトを六角レンチ5mmで固定してください。
(目安として締め付けトルク 5N・m)



注意



角度固定キャップボルトはしっかりと固定すること

角度固定キャップボルトがゆるみ、転倒やけがの原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖準備しましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

ご使用になる前に

ご利用の前に手すりや踏み台を軽くゆすり、各部にガタつきがないか確認してから使用してください。

①手すりがガタつく場合、

P.13「手すりの高さ調節のしかた」および P.14「手すりの角度調節のしかた」を確認し、各ボルトを再度しめ付けてください。

②踏み台がガタつく場合、

P.11「3. 踏み台を取り付けます」を確認し、各ボルトを再度しめ付けてください。

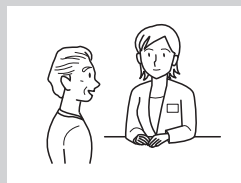


警告



予測できない行動をとる利用者や、自力で危険な状態から回避することが難しい利用者には使用しないこと

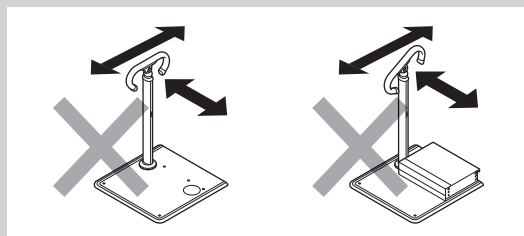
利用者の心身状態や利用環境によって、誤って頭や手足、体の一部をぶつけて転倒する可能性があり、場合によっては生命にかかわる事故につながるおそれがあります。
十分なモニタリングとフィッティングをお願いいたします。



手すりに対して水平に力を加えたり、勢いよく力を加えるなどベースプレートが浮き上がるような使用をしないこと

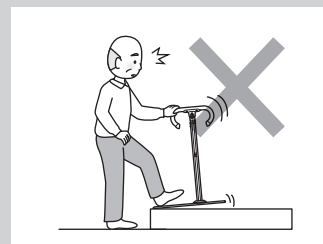
壁や床に固定されていないため転倒やけがの原因になります。

手すりを床面に押さえつけるように力を加えて使用してください。



手すりを段差の上に置き、上り下りする用途で使わないこと

壁や床に固定されていないため転倒やけがの原因になります。



ベースプレートに砂利や土、雪などが乗ったまま使用しないこと

足を滑らせ、転倒やけがの原因になります。



💧 お手入れしましょう

下記の手順に従ってこまめにお手入れしてください。

警告



改造をしないこと

また、修理技術者以外の人は、分解したり修理したりしないこと

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



分解禁止

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。

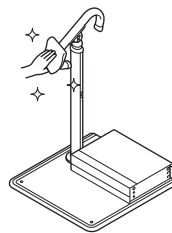


お掃除のしかた

日常のお手入れ方法

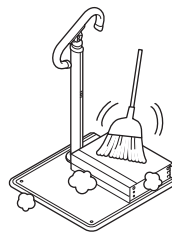
（手すり、支柱、ベースプレート部分）

- お手入れはやわらかい布で乾拭きするか、固くしぼった布で水拭きしてください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤をしみこませたやわらかい布でふき、その後水拭きをしてから乾いた布で水分をきれいにふきとってください。



（保護マット部分）

- 毛先のやわらかいブラシなどで掃いて、表面の砂や土などの汚れを落としてください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤を使用しブラシなどで洗い、その後水で洗い流し、風通しの良い場所で乾かしてください。



消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。

製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。

製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

注意



消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。

🔍 確認しましょう

⚠ 安全上のご注意

✂ 準備しましょう

💖 使いましょう

💧 お手入れしましょう

❓ 困ったときには



お手入れしましょう／？ 困ったときには

保管時の注意

「安全上のご注意」をご確認ください。

詳しくは…P.9へ

点検のしかた

「ご使用になる前に」をご確認ください。

詳しくは…P15へ

交換部品

部品交換は、貸与事業所の修理技術者の方がおこなってください。

各部品が汚れたり、破損した場合は、貸与事業所もしくは取り付け業者にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ

商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。

ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の
月～金 10:00～16:00
(12:00～13:00 は除く)

確認しましょう

！安全上のご注意

✖準備しましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

困ったときには

メモ

保証とアフターサービス よくお読みください

※下記の保証内容は商品をご購入頂いたお客様向けのもので、
レンタル（貸与）でご利用されたお客様はサービスを受けた福祉用具貸与事業所へお問い合わせください。

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

- 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
 - ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - ボルトなど消耗品の損傷及び汚れ。
 - 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
 - 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 〈個人情報の取扱いについて〉
- 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
 - 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒 ご芳名 TEL
★販売店	住 所 〒 店 名

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

23.09 919271